

## PRESTO™ A80t

### 20Lのガラス反応容器を + 50°Cから + 20°Cまで冷却運転

#### 目的

このケーススタディはユラボPRESTO™ A80 t の冷却能力を  
20 L のガラス反応容器でテストしたものです。  
ユラボPRESTO™ A80 t を1mのメタルチューブ2本で20 L のガラス反応容器に接続し  
+ 50°Cから+20°Cまで冷却するようにプログラムされています。

#### 環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	208 V / 60 Hz

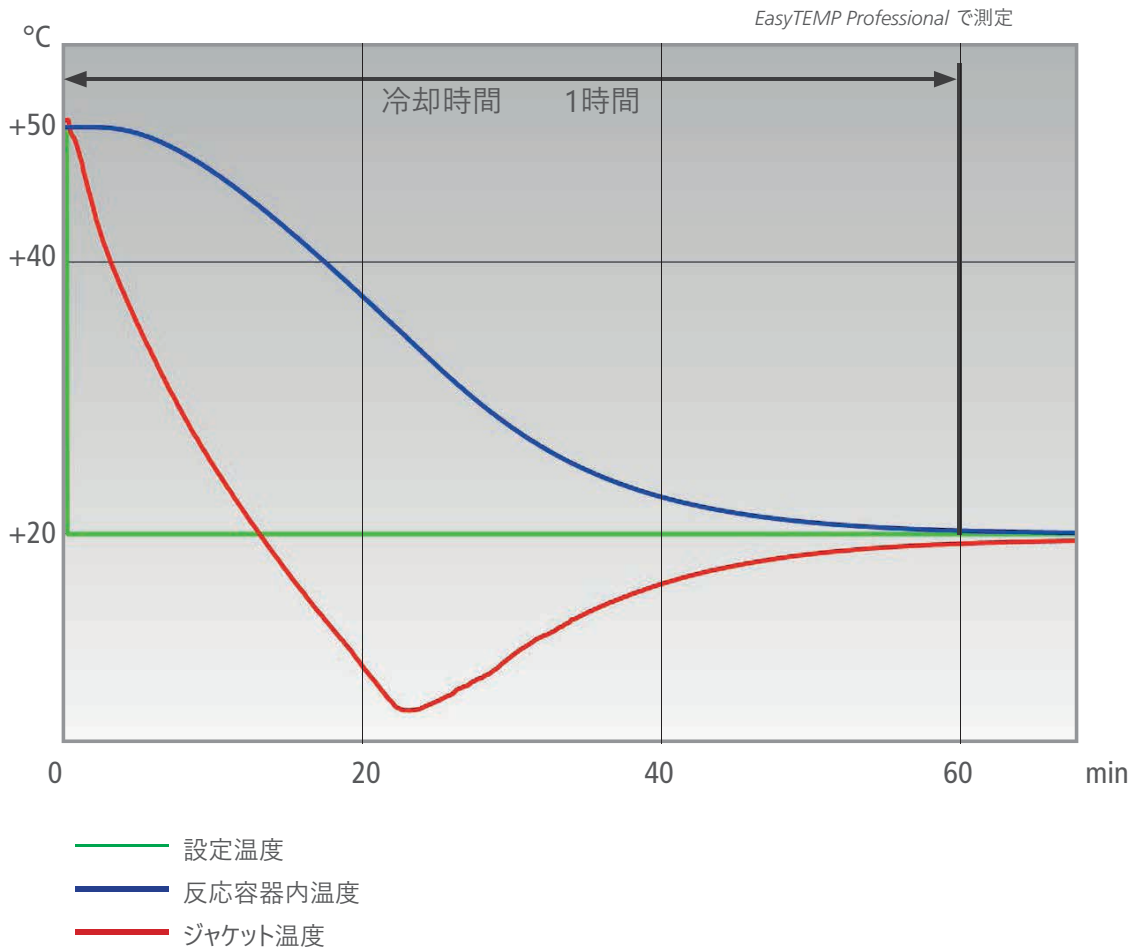
#### テスト条件

ユラボ装置	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
バンドリミット	有り
吐出圧	0.5 bar
循環液	ユラボサーマル HL80
反応容器	20Lガラス反応容器(Asahi) 19LのサーマルHL80で満たしています
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



## テスト結果

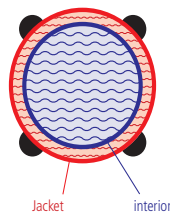
PRESTO™ A80 t の冷却プロセスは +50°C から +20°C まで 1 時間でアンダーシュートすることなく到達しました。



### 情報

容器の保護：  
“バンドリミット”機能  
(上記参照)で、  
容器内部温度と  
ジャケットの温度差を  
制限して設定する事が  
できます。

Profile of reactor



### 情報

PTFEコーティングされた  
Pt 100センサーが  
使用可能です。

